

私のふるさと



保土原
常松 陽子 さん



秋田県
美郷町

私のふるさととは奥羽山脈のふもと、横手盆地に位置する秋田県美郷町六郷(旧仙北郡六郷町)です。六郷には60を超える清水があり「全国名水百選」に選定されています。寺町通りには古くからのお寺が建ち並び、閑静な佇まいで、六郷湧水郡とともに観光客が訪れます。

湧き水は一年を通じて水温15℃前後で、氷河期の生き残り「イバトミヨ(通称：はりざっこ)」が生息し、今も六郷中(現在の美郷中)の生徒が育成保護に取り組んでいます。清水でよく知られているのが、名水から生まれた「ニテコサイダー」のニテコ清水や、佐竹の殿様が料理用にここの水を使った御台所清水です。水は澄んでいておいしいです。

毎年8月23日の夜から24日未明にかけて、全県かけ唄大会があります。「仙北荷方節」に即興で歌詞を乗せ、2人1組で掛け合うものです。子どもの頃は意味が分からなかったけれど、今なら楽しんで聞くことができると思います。

2月の小正月には700年余り続く「竹うち」があり、国の重要無形民俗文化財に指定されています。町を南北に分け7mもの青竹で激しく打ち合い、北が勝てば豊作、南が勝てば米価が上がるといわれています。私が住んでいた頃の冬には、雪が沢山降り根雪がありました。

この機会をいただきふるさとを振り返ることができ、思い出でいっぱいでした。

tette 情報



tetteでは、感染症対策を取りながら、順次講座を再開しています。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。参加するときは、感染防止にご協力をお願いします。



tetteホームページ



TETTE.SUKAGAWA
tetteInstagram

■ tetteスクールなど

市民交流センター ☎(73)4407

tetteスクールシニア 「コロナに負けない体操！」

9月17日(木) 午前10時～11時30分 ※事前申込

tetteライブラリーシアター

「ゆかいなゆかいなアニメコレクション

～トムとジェリーと仲間たち～」

9月20日(日) 午前10時～11時 ※先着50人

tetteスクール 「インフルエンザ・感染症のはなし」

9月27日(日) 午前10時～11時30分 ※事前申込

■ tette動画を配信

tetteスクールオンライン

エクササイズや料理などを楽しく学べる講座

●マスクのトラブル

おうちでできるtetteスクールファミリー

家族で楽しめる運動や実験、お菓子作りなど

●はずむシャボン玉をつくってみよう

円谷英二ミュージアム特撮の技術

特撮にチャレンジ

●水そうで噴火

■ こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

歯みがき講座

9月17日(木) 午前10時～11時30分 ※事前申込

子育て相談会

9月24日(木) 午前10時30分～11時30分 ※先着3組

お月見かざりをつくろう

9月24日(木)からキットを配布 ※事前申込

■ 図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

9月12日(土)・26日(土) 午後2時

※自由参加(人数制限あり)

おひざにだっこのおはなし広場(お話の会う・ポム)

9月16日(水) 午前11時 ※自由参加(人数制限あり)

健康講座～家族が認知症かなと思ったら～

9月30日(水) 午後1時30分～3時 ※事前申込

講師 長寿福祉課保健師、中央地域包括支援センター職員

点字教室～点字についてまなぼう！～

10月4日(日) 午前10時～11時30分 ※事前申込

講師 鈴木恵子さん(点訳サークルふれあいの会)



サ ー ク ル と わ た し



よりそう・つながる・はじまる kokoyori

代 表 者 熊田 ひろみ

会 員 10人

発 足 年 月 平成28年8月

連 絡 先 ☎090-6252-2495

活 動 日 毎月1～2回

活 動 場 所 kokoyoriハウス(八幡町107-1)、
tetteなど

よりそう・つながる・はじまるkokoyoriは「みんなの食堂わりら」や「tetteでわりら」など、子どもたちの居場所や交流の場づくりの活動をしています。

「自分が嫌なことも相手が嫌なこともしない・言わない」を守れるように、見守りながら楽しんでいきます。一緒に料理をする時間は子どもたちのやりたい気持ちがあふれ出して、一緒に食べる時間は何気ない会話を楽しんで、一緒に遊ぶ時間はルールの大切さを学ぶこともあり、笑ったり、泣いたり、けんかしたり、いつもとは違った人たちとの触れ合いも得られる場所になっています。

今年は新型コロナウイルスの影響で、食材の配布、ボードゲームや本の貸し出し、ミニ縁日など、できることでの活動を楽しんでいます。どなたでも参加できますので、興味のある方はぜひご連絡ください。ボランティアでの参加もお待ちしております。



ふるさとの遺産

須賀川アルバム

－昭和の記録写真から－

No.313

座頭ころばし
(昭和40年代前半)



石や土でこぼこしていた昭和時代の座頭ころばし

須賀川は坂道の多いまちです。昭和時代初期まで、徒歩をはじめ、馬や牛、荷車で往來していたため、坂道は通行に注意が必要な箇所として、今よりも生活の中で意識せざるを得ない存在でした。

現代は自動車などに乗り、坂を感じることもなく目的地に着きますが、昔からある坂道を歩けば、疲れを通して昔の人と心を通わせることができるかもしれません。

座頭ころばしとは、座頭(盲目で琵琶の演奏や按摩などを職業とした人)が転んでしまう坂という意味です。岩盤を切り崩して通したこの坂は、写真を見ると、座頭でなくとも足元が危ない急坂であることが分かります。

在でした。その中で、様々な由来や特徴を持つ坂の通称が生まれました。

守谷館の妙経寺西側から中宿に向けて降りる坂道は「座頭ころばし」と呼ばれています。座頭(盲目で琵琶の演奏や按摩などを職業とした人)が転んでしまう坂という意味です。岩盤を切り崩して通したこの坂は、写真を見ると、座頭でなくとも足元が危ない急坂であることが分かります。